



- 1 次の用語を調べる。(インターネット、アプリ、セキュリティ、SNS、ダウンロード)  リーダー  保護者
- 2 手紙やチャットで嫌なことを書かれたことを考え、その気持ちを発表する。  リーダー  保護者
- 3 10年後のコンピューターの世界に残っているもの、なくなるものを想像する。  リーダー  保護者
- 4 インターネットの便利な点、危ない点を話し合い、より良い使い方を発表する。  リーダー  保護者

せんげん  
■サイバーセキュリティヒーロー宣言

“

”

(なまえ)

君をサイバーセキュリティヒーローとして認める

チャレンジ完了日 年 月 日 / 隊長 印



パロアルトネットワークス

米国カリフォルニア州サンタクララに本社を置く世界的なサイバーセキュリティをリードする企業です。私達は、デジタル社会の変化のスピードが加速する中でも、安全にデジタルへの移行を可能にするイノベーションを継続的に提供しています。私達は世界中でセキュリティの課題に立ち向かうためのサポートを行っています。



チャレンジ章  
コラボレーションバッジ

サイバーセキュリティヒーロー

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
〒167-0002 東京都杉並区下井草4-4-3

<https://www.scout.or.jp>

チャレンジ章  
コラボレーションバッジ

# サイバーセキュリティヒーロー



チャレンジ開始日 年 月 日 なまえ

# インターネットを正しく使える、ヒーローに君はなれるかな？

パソコンやスマートフォン、テレビやゲームなど、多くのものが、インターネットにつながっていて、暮らしを豊かにしているんだ。便利な一方で、使い方を間違えると、大切な情報が知らない人に取られたり、突然使えなくなったり、大変なことになってしまうよ。ゲームやアクティビティ（活動）を通じて、サイバーセキュリティの世界を探検してみよう。



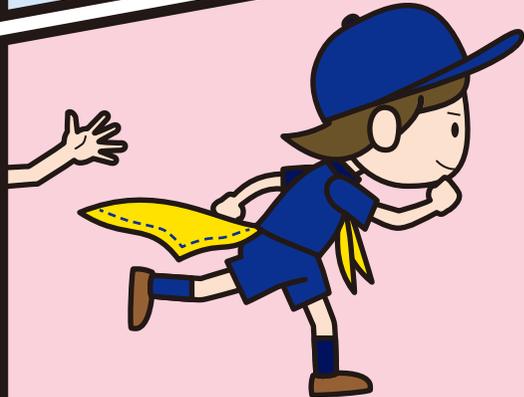
## パスワードをあててみよう

1. グループや組の中で、1人が「ユーザー（利用者の意味）」役になります。
2. ユーザー役は、トランプを1枚取り、他のメンバーには、みられないように手元で隠します。
3. 他のメンバーは、「はい/いいえ」で答えられる質問をしながら、ユーザーのカードを当てます。
4. ユーザー役を交代したり、トランプの枚数を2枚、3枚と増やします。



## パスワードを守るう

1. しっぽに見立てたチーフをズボンの後ろ側にはさみこみます。
2. このしっぽを自分のパスワードとして守りながら、相手のしっぽをつかみ取ります。
3. パスワードをつかんだら、はなさずに持ち続け、取られた人は、その場で座ります。
4. 最後までしっぽを取られなかった人と、最も多くのパスワード（しっぽ）を集めた人が勝ちです。



## ネットいじめを探せ

1. スカウトロープで線を引き、ロープに沿ってスカウトは一列に並びます。
2. リーダーが説明するシナリオを聞いて、自分が感じた気持ちの方へ移動しましょう。
3. 何回か繰り返したあと、楽しい気持ちと悲しい気持ちになった話をふりかえり、どんな場面にいじめとを感じる要素があるか、グループや組のなかで確認しましょう。



活動に使うシナリオは、日本連盟 Web サイトからダウンロードすることができます。

## ヒーローになるう

1. インターネットを活用した場面のシナリオを選んで組の仲間と共有する。
2. 自分がそのシナリオの中で、困っている人を助けるための行動を考えましょう。
3. 自分が傷つけられる、または誰かを傷つけてしまうことを考え、どうすればよいかをグループや組の中で発表しましょう。



ゲームやアクティビティの中で、サイバーセキュリティの大切さを学んだら、何に気をつけるのか、どんなことに取り組むのか、ヒーローとして宣言を書こう。（裏面を見てね）  
ボーイスカウト日本連盟のサイトでは、サイバーセキュリティについて他の活動も紹介しているよ。QRコードから探してみよう。

